

提 言 書

日 時 令和6年7月10日（水） 午前10時00分から午後0時10分まで

場 所 紀の川市役所3階 庁議室

出席者 伊藤委員、恩賀委員、川端委員、中迫委員、中村委員、西川委員、宮城委員

審議事項

- ・令和5年度行財政改革推進計画の進捗状況及びその結果に基づく令和6年度の重点推進項目について

令和5年度行財政改革推進計画の進捗状況及びその結果に基づく令和6年度の重点推進項目について、行政経営部会、人事部会、施設部会、財政部会及びDX部会から説明を受け、行財政改革が着実に執行されているかの審議を行いました。

令和5年（2023年）12月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」に基づき、今年4月に人口戦略会議が公表した報告書によると、本市は消滅の可能性がある自治体とされています。

歳入においては、人口減少の影響により市税や地方交付税の減収が見込まれ、歳出においては、少子高齢化の影響により扶助費の増加が見込まれており、本市にとって厳しい状況であるといえます。

そのような中、昨年度策定した行財政改革推進計画については、重点的な取組が行われ、着実な成果が得られていると判断できました。また、今年度についても行財政改革大綱に基づき、具体的な取組が計画されていることも確認できました。

つきましては、下記のとおり委員会における提言を記しますので、今後の行財政改革の取組に反映されるようお願いします。

記

① 職員の能力向上について

複雑化・多様化する市民ニーズに対応するためには、職員一人一人の能力を向上させていく必要があります。引き続き研修を実施するなど職員の能力向上に努めていただきたい。

また、職務へのモチベーションを向上させるため、職場環境の整備、充実を図っていただきたい。

② 各種計画の推進について

市で策定した計画の推進にあたっては、少子化や高齢化などの実態を踏まえた上で、課題解決につながる施策を進めていただきたい。

③ ふるさと納税の取組について

近年増加傾向にあるふるさと納税は、その大半が農作物によるものであるが、農業の後継者も不足しており、これからは今までのように寄附額は伸ばしにくい状況である。今後も財源の確保のために、寄附額の維持、拡充につながる取組について検討していただきたい。

④ 基金について

災害などの発生に備え、基金を積み立てることは非常に大事なことであるが、必要以上に蓄えず、市民へのサービス還元や借入金の返済などに活用していただきたい。